

A0443
105系仙石線旧塗装 4両セット

主な走行都市



製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

品番	A0443			
JANコード	104491			
商品名	105系仙石線旧塗装 4両セット			
商品系形態	塗装済完成品			
素材	ABS樹脂			
予価	12,500円			
発売予定	2002年9月			
規格	N			
カートン内入数	12			
実車	従来のMM'ユニット方式では、地方ローカル線での短編成運転には不向きでした。旧型電車の老朽化も著しくなり、高性能化が推進されていた背景の中で、高性能電車として初めて1M方式を採用した105系が昭和55年に誕生しました。105系は昭和56年2月に福塩線、3月に宇部・小野田線で営業開始しました。その後は当時の国鉄の財政事情から、昭和59年常磐緩行線から余剰になった103系1000番台を改造し、奈良・和歌山線電化用と可部線の高性能化に投入されました。また、昭和62年3月仙石線での区間運転用としても増備されました。105系は新製車が3扉、改造車は4扉と異なり、改造車は先頭車改造が施工されたため種車により多くの番台区分が起こされ、バリエーションに富んでいます。当初仙石線色は白を基調として赤と青帯を入れた塗装でした。後にスカイブルー1色に改められましたが現在では廃車となり、新秋津と久里浜の訓練センターに残っています。			
商品	103系から改造された4扉の105系を製品化 製品は非ユニットサッシ窓・冷房改造車がプロトタイプ 低運転台・シールドビーム仕様(通称ブタ鼻)タイプの前面 105系専用の床下を用意して、103系とは作り分け 白を基調として赤帯と青帯が入った塗装を美しく再現 JRマーク印刷済 157系で好評だった床下機器への精密印刷済 通勤型電車の象徴である吊革を取り付け 車番・所属標記印刷済 ヘッドライト・テールライト点灯 ヘッドライトスイッチ付(ON←→OFF) 黒染車輪採用			
付属品	行先ステッカー		重連用カブラー	
パッケージ	4両用ブックケース			
オプション対応	トミックス 室内灯#0751,#0781		トミックス TNカブラー#0334	
関連商品	A0436 103系エメラルドグリーン 6両基本セット A0437 103系エメラルドグリーン 4両増結セットA A0445 103系エメラルドグリーン 5両増結セットB			
編成	クモハ105-101	ヘッドライト・テールライト・パンタグラフ	クモハ105-601	ヘッドライト・テールライト・パンタグラフ・モーター車
	クハ105-105	ヘッドライト・テールライト	クハ105-601	ヘッドライト・テールライト
特記事項	JR東日本商品化承認済			